

2020年度事業計画書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

—公益財団法人大澤科学技術振興財団—

I 助成事業

1. 助成事業の項目

定款第4条に定める事業のうち、主として次の事業を行う。ただし、本年度の助成総額は8,000万円とする。

- (1) 研究開発に対する助成
- (2) 国際交流に対する助成

2. 助成対象の研究分野等

助成については当財団の特色を出すため、前年度と同様「金属及びその他新材料に関する切削、研削等の機械加工の分野並びにこれらの基礎となる理工学の諸分野」とする。

3. 創立30周年記念事業

2021年には財団の創立30周年を迎えることをふまえて、2018年度から2021年度までの4年間で総額1億円の助成を行う。助成は研究開発助成の中に重点研究開発助成の区分を設け、年度毎に重点研究課題を定める。

2020年度の重点課題は次の2つとする。

- 課題1：複合化による加工技術の高度化に関する研究
- 課題2：機械加工のインテリジェント化に関する研究

4. 助成金額

研究開発助成費8,000万円をおよそ次のように区分する。

	予算 (万円)	1件あたりの 助成金額(万円)	採択 件数	助成 年数
研究開発助成				
重点研究開発助成	3,000	(最大) 1,000	課題1、課題2 から合わせて 3件程度	2年
一般研究開発助成	4,700	(最大) 250	20件程度	1年
国際交流助成	300	学会発表(最大) 30 招聘(最大) 50	10件程度 2件程度	
合計	8,000			

5. 助成希望課題の募集

- (1) 募集案内を送付する大学・研究機関は約70機関とする。
- (2) 財団のホームページを利用して募集の案内をする。
- (3) 精密工学会誌、日本機械学会誌及び砥粒加工学会誌の会告に応募要領を掲載する。

6. 募集期間

本年4月1日から5月11日とする。

7. 助成課題の選定

応募課題は、選考委員会（7月中旬開催予定）により採否が決められる。

8. 助成費贈呈式

贈呈式は10月頃に開催する。

II 事業年報の刊行

第28号の事業年報（2020年度版）を刊行する。主な内容は、2018年度助成の研究報告及び2019年度助成の国際交流の報告とする。

なお、刊行の時期は研究助成費贈呈式での配布を考慮して、9月下旬を予定する。